

2022年6月25日読書会用

第307回山口西田読書会（2022年6月11日開催分） プロトコル

楯谷智子

1. テキスト

「場所」四 251頁6行目～253頁2行目

2. キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

キーワード「物理的空間」

キーセンテンス「物理的空間はどこまでも感覚的でなければならぬ、感覚性を離るれば物理的空間はなく、単に幾何学的空間となる、而して力は亦数学的範式となるの他はない。」

考えたこと

物理的空間と幾何学的空間の違いがわかりません。幾何学的空間や数学的範式も、ある人々（数学者とか）にとってはリアルな感覚によって捉えられたものかもしれません。人は手持ちの限られた感覚器官を用いて、仮に色とか音とかいうふうには知覚しているだけで物理的空間と幾何学的空間に本質的な差異はなく、その両者はいずれも感覚性があり、感覚性のないものは考えることすらできない、ということも可能ではないかと思うのですが。(200字)